

厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和5年4月25日(火)

開催場所：1・2号委員会室

町民生活部

1. 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、インフルエンザ同様に「療養期間が個人の判断」「濃厚接触者という定義がなくなる」ことになり、学校においては出席停止発症後5日間、解熱後2日間となる見込みです。

連休後の感染拡大が懸念されますが、デルタ株からオミクロン株に移行したコロナウイルスについて、感染力は強いが重症化率が低い傾向にあるので、今後は具合が悪くなった場合に病院を受診し、医師の判断により検査等の実施が決定されることとなります。

以下、5類移行後の病院や町の対応の変化を説明していただきました。

【主な質疑】

委員：発熱外来や予防接種はどのようになりますか？

担当：入院時のコロナ検査は引き続き実施し、発熱外来はしばらく続くと思われます。今後予定されている春の予防接種は今までどおり無料となりますが、秋の接種については未定です。

委員：コロナ病床はどのようになりますか？

担当：コロナ病床確保に対する国からの補助金が9月末まで継続となっていますので、9月までは20床を確保します。9月以降については減少なりを考えていくと思います。

委員：例年、連休明けに患者数が急増することがあり、潜在的な患者が急増する心配がありますが、どのような対応になるのでしょうか？

担当：5月8日以降は個人・事業所の判断になるのが大きなところで、感染が拡大するのではという心配はありますが、8日以降は定点観測となり、病院で1週間の感染者の数値を保健所へ報告するのみになります。

委員：感染力が高いため学校等で拡大し家庭に広がり、病院がひっ迫する懸念はありませんか？

担当：最近検査する人が減ってきています。これまで小児科では多い時で1日50人でしたが、感染拡大でも倍の数にはなりません。基本的な感染対策は今後も変わらないので、コロナと共存していくしかないものと考えています。

委員：連休前に検査キットを配布し、感染拡大を防止することはできませんか？

担当：現在の在庫が千個程なので、高齢者施設や介護施設のために保管しておきたい

と考えています。

委員：予防の周知は重要で、コロナという恐怖感もあります。「FMはな」や「公式LINE」等を含め周知が必要だと思います。

担当：早速取り組むことにします。

委員：国からの補助金で病床確保対策以外は全てなくなってしまうのでしょうか？

担当：医療機器の整備についての補助はあります。また、春に行うワクチン接種についても国が補助する形となっています。しかし、今後は保険適用のような形になると想定されているようです。